

○取り組み状況

- ・結核病床を有する医療機関を訪問又はWebにより、患者の受け入れ状況、合併症のある患者の対応、地域との連携状況、治療相談システムについての意見等について聴取（2月～6月）
- ・併せて結核病床を有する医療機関及び結核患者収容モデル病室を持つ医療機関にアンケート調査を実施（5月～6月）
- ・空床情報を提供いただいている医療機関に対して、他病院の空床情報を確認できるよう掲載情報の閲覧権限を付与（8月）

○今後の予定

- ・病院訪問及びアンケート調査結果を、ホームページに掲載する内容としてまとめる。（7月～8月）
- ・掲載情報を医療機関へ確認。（8月～9月）
- ・都のホームページに掲載、東京都医師会を通じて周知（10月）

○一般医療機関で対応するための体制づくり

結核疑い患者診察後の流れ イメージ

一般医療機関で結核が
疑われる患者の診察

東京都のHP

- ・結核病床を有する医療機関の機能が分かる
- ・相談対応をしている医療機関、相談先が分かる

情報収集の効率化

- ・転院が必要な際に、情報を効率よく把握できる。
- ・専門医療機関のアドバイスを受けつつ一般医療機関で患者をフォローすることもできる。

連携強化

- ・連携が取りやすくなることで、患者さんも地域で治療ができ、一般医療機関の結核対応力の向上も見込める。